



# 京 悠 会

編集・発行元 社会福祉法人京悠会 埼玉県所沢市下富1206-1 TEL04-2990-1133



クリニック完成イメージ

『鳥は飛ばねばならぬ』

坂村真民

鳥は飛ばねばならぬ  
人は生きねばならぬ  
怒濤の海を  
飛びゆく鳥のように  
混沌の世を生きねばならぬ  
鳥は本能的に  
暗黒を突破すれば  
光明の島に着くことを知っている  
そのように人も  
一寸先は闇でなく  
光であることを知らねばならぬ  
新しい年を迎えた日の朝  
わたしに与えられた命題  
鳥は飛ばねばならぬ  
人は生きねばならぬ

# 2020年（令和2年）の新春を迎え

悲願の《クリニック》を6月にオープン予定です！

理事長 岡田 京子

## ◆2020年幕開け

2020年、令和2年の新春を迎え、ここに謹んで新年のお祝いを申し上げます。

今年は、7月から9月にかけて、東京オリンピック・パラリンピックが東京を中心に開催されます。日本の国民はもとより、世界の人たちも大きな期待をもってこのイベントに関心を注いでいます。わが国の“心意気”と“おもてなし”の心を、世界に発信したいものです。

## ◆心のこもったサービスに努め、気持ちを新たに組みます

京悠会一障害者支援施設「円野」や特別養護老人ホーム「真和の森」での諸活動におきましては皆さま方には、格別なご配慮を賜り心から厚くお礼を申し上げます。

本年もこれまで以上に、心のこもったサービス向上に努め、気持ちを新たに組み組んでまいりますので、お気づきの点などあれば何なりとご指摘、ご指導をいただければ幸いです。

## ◆クリニックの開設は 地域住民の方々にも朗報

今年6月、悲願でありましたクリニックを開設する運びとなります。

障害者の方、高齢者の方の受診・通院は、心身ともに大きな負担が掛り、なんとかその負担を軽減させる仕組み、方法はないだろうかと長年考え続けてまいりました。

このクリニックの存在は、利用者様、ご家族様はもとより、日々ケアを担当している介護スタッフにおいても重要なものになります。



福祉と医療は切っても切れない関係にあり、地域住民の方々の健康維持や医療にもお役に立つものと強く信じています。このような思いを共有していただける医師との素晴らしいめぐり逢いに感謝でいっぱいです。

## ◆“まちの保健室” — 地域の方々の健康維持と医療に安心感

クリニックに併設予定の「デイサービス」、そして「まちの保健室」を整えまして、地域の方々に安心感を提供することが出来れば何よりありがたく思っています。

本年も明るい地域社会実現のため、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さま方のご健勝・ご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

～3ページからの続き

また、「それぞれの立場で何ができるのか」を自分なりに考えることの大切さを教えていただいた講演会でした。最後は拍手喝采。2百名近い参加者でしたが、会場の皆さんから非常に温かい反響をいただいております。

またこのような企画がありましたら、『なまはげ』に懲りずに、ぜひお話しを聴かせてほしいと思います。

## 『つれづれなるままに ～認知症を語る～』 【第4回】

### “認知症に優しいまちづくり” ベルギーから学んだ地域づくり

～秋田市の市民公開講座で京悠会・岡田理事長が講演～

#### 皆さんお元気でしょうか？

令和2年の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。今年も皆さまにとっていい年になりますよう心からご祈念申し上げます。

さて、今回は当初予定していました「認知症の気付き」を変更して、現在、私が主に活動の拠点にしている秋田市で、昨年末に開かれた認知症に優しいまちづくりをテーマにした市民公開講座のことを記していこうと思います。

昨令和元年11月30日（土）に開かれた市民公開講座「みんなで支え合うまちづくりーベルギーのまちから学ぶ認知症にフレンドリーな地域づくり」に、社会福祉法人京悠会の理事長で、公益財団法人フォトン・ジャパンフレンズの理事長でもある岡田京子様が講師として参加してくださいました。

#### ベルギー・ブリュージュでの体験

今回の講演会では、まず岡田理事長から「ベルギー・ブルージュから学んだこと」と題し、ご講演いただきました。

公益財団法人フォトン・ジャパンフレンズや社会福祉法人京悠会の設立の経緯、ベルギー・ブリュージュ市を訪ねられた経緯、現地では、真剣に、しかもじっくり視察された時のことをお話されました。

そして何よりも、NPO法人フォトンを立ち上げ、認知症になっても住み慣れたまちで安心して暮らしつづけることのできるまちづくりに熱意を注がれてきた理事長のバルトさん、認知症を患っておられたニコさんや妻であるエレナさんから多くの体験談・教訓などを学ばれ、認知症に優しいまちづくりの具体的な内容を懇切丁寧に秋田市民の方々にご説



大田秀隆（おおたひでたか）

秋田大学高齢者医療先端研究センター長・教授

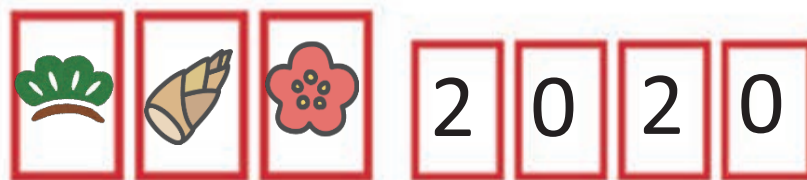
東京大学大学院医学研究科加齢医学を修了し、医学博士を取得。ハーバード大学MGH客員研究員、東京大学医学部附属病院老年病科・助教、特任講師を経て、平成27年より日本医療研究開発機構(AMED)、厚生労働省老健局に勤務され、平成30年から現職に至る。

明してくださいました。岡田理事長が経験されてきたこと、身をもって肌で感じてこられたことを率直に語っていただき、聴講の皆様も熱心に聞き入っていました。

#### ポジティブなイメージの重要性

バルトさんの寛大なお人柄、そして人との信頼関係は、目線を合わせて「笑顔」と「スキンシップ」で示すことの大切さ、症状が重度にもかかわらず、同じテーブル、同じメニューで共に食事をすることなど、日本の介護・ケアの現状ではとても考えられないことばかりでした。

エレナさんからの「ニコさんの良い状態を維持するためには忍耐力が大事」という言葉には、私たち医療や介護を志す者にとっては非常に重い言葉だと思います。「認知症」という言葉にはどうしてもネガティブなレッテルを張られるところがあります。それをポジティブなイメージへ変えていく、つまり「はじまり」の大切さと、失うことへの受容、そして一連の過程の中で「認識」から「確信」にかわっていく人の強さというものを教えていただいたように思います。続き2ページへ～



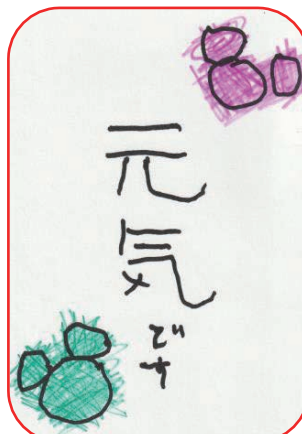
謹んで新年のご挨拶を申し上げます



☆みなさまへ  
みつるより



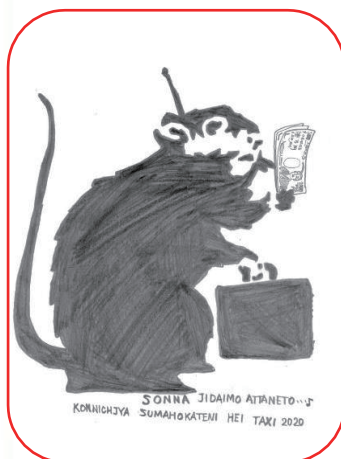
☆田舎の友人へ  
こうじより



☆ちち、ははへ  
くにかずより



☆ひろや画伯



☆みなさまへ  
かずより



☆2階のひろやへ  
かずまさより



☆みなさまへ  
のりあき(菅原)より

僕も頑張ります。お姉さん  
も頑張って！よしあきより

げんきです  
☆ははへ ちあきより

本年もより良いサービス提供をできるよう邁進してまいります  
のでご指導のほどよろしくお願い申し上げます 円野職員一同

ネズミ年に  
よせて・・・



# 真和の森



## あんなこといいな！できたらいいな！

2020年は子年（ねどし）です。子だくさんのねずみにあやかって、子年は「繁栄の年」となるという言い伝えがあります。  
東京オリンピックも控えている今年、どんな1年になるのでしょうか。  
そこで、利用者様へ子年に寄せて、抱負をインタビューさせていただきました。

お寿司が食べたいね。  
（鈴音町・高橋様）

みんなで寿司、茶碗蒸しを食べたい。  
（鈴音町・山方様）



国産の高級なうなぎを食べたい。  
（朝日町・山路様）



お父さんと一緒に旅行に行けたらいいね。  
（柳野町・菊池様）



世界一周旅行に行きたい。  
（初音町・岡田様）

名古屋、奈良、九州に行きたい。  
（海音町・長谷川様）

お泊りに行きたい。（琴音町・市川様）

ヨーロッパを一周したい。（朝日町・林様）



着物を着て出かけたい。  
（鈴音町・八木原様）

体を治して日本舞踊、民謡を楽しみたいです。  
（柳野町・松崎様）

カラオケが好きだからみんなで楽しくカラオケで歌いたい。  
（桜町・田中様）



恋愛したいね。  
（初音町・井出様）



印刷の機械をもう1回動かしたい。  
（初音町・大類様）



歩けるようになって、お外をさんぽできるようにになりたいな  
（笑町・久保木様）



やっぱり健康でいたいよね。  
（桜町・新井様）

もっともっと百歳目標にがんばります。  
（笑町・藤谷様）

元気に笑顔ですごせますように。  
（福町・福田様）

いっぱい食べていっぱい寝て長生きする。  
（笑町・田所様）



円野一家



サザエ



波平



フネ



マスオ



利用者様年忘れパーティー

ワカメ



イクラ



ONE TEAM TSUBURANO!

カツオ



タマ



タマ(マル)



タラオ



(防災訓練)

飯能日高消防署の御指導の下、防災訓練を実施しました。火災発生から初期消火、通報、避難誘導までの総合訓練を行うとともに、AED使用時の救命訓練、水消火器による消火訓練を行い利用者及び職員等防火に対する意識や一連の流れを再確認できました。



## 真和の森 こころの相続

～愛子様（仮名90歳）の最期に寄り添って～  
フロアリーダー／介護福祉士 山田 貴世子



人の生涯、中でも終末期に携わらせていただいたことはそれは何度経験しても慣れることはありません。

私が真和の森へ入職した時、愛子様はすでに入居されていました。

その愛子様は大きな声を張り上げ「死ね、殺される、バカヤロー」などの激しい言葉を日常的に発していました。

### 職員の側から静かに語りかける

愛子様と接する時は、まず耳元で穏やかな口調で静かに語りかけ、これからすることなどの説明をして愛様に気持ちの準備をしてもらうことを心がけました。

それでも時には介護に対して抵抗することもあり、職員に対しひっかく・噛むなどの行為で傷だらけになったこともありましたが、しかし、ガマン強く介護を続けるうちに少しずつですが顔を上げ声も穏やかになっていきました。日常会話でも「いいよ」「はいよ」などといった相づちの言葉も聞かれるようになりました。

### 真和の森で最後まで暮らしてほしい

愛様が90歳を迎えられた頃になると、あの厳しかった性格も穏やかになりました。が同時にお食事の量も徐々に減っていききました。

そうした現実を踏まえて愛様の今後のことについてご家族様と相談するようになりました。真和の森で行っている「看取り介護」についても丁寧に説明させていただきました。当初ご家族様の間で意見がなかなか合わず悩まれている様子でしたが、主治医の先生に今後のことについてお話を伺い、何度も話し合いを重ねていくうちに

ご家族様は「真和の森で母らしい最期を迎えてほしい」と希望されるようになりました。

### この施設で良かった、と家族から感謝

その後愛様は体調がすぐれない日々が続くようになり、ご家族様は愛様と会える時間を大切に過ごされていました。

その日は、遠方からのご親戚の方、ご家族の方が一緒に面会に来られていました。ご親族の方々が見守る中、穏やかな表情ですーと眠るように息を引き取られました。長い人生、大往生で生涯を終えられました。

ご家族様から「この施設で良かった。母の事を理解し大事にしてくださってありがとうございました」との言葉をいただきました。

### こころの相続



新人の時に流した涙とは違い、悲しさにプラスしてこみ上げる熱いものがありました。介護の仕事に充実感を味わい、利用者様の最期に立ち会わせていただいたことに感謝しました。

人の生涯、中でも終末期に携わらせていただいたことはそれは何度経験しても慣れることはありません。私たちは利用者様の最期に何をして差し上げられるか、ご家族様の心のケアをどのようにしていけばいいのか、仲間たちのメンタルケアをどうすればいいのか等様々なことを自分に問いながら頑張っていきたいと思う今日この頃です。愛子様ありがとうございました。

# イベント報告

## 職員親睦旅行

10月に職員有志で親睦旅行に行きました。訪問先は日本とも関係の深い韓国を選択し、韓国の文化、歴史及び現在の日本との関係も肌で感じる事が出来ました。



川の向こうは、近くて遠い国北朝鮮です。こんなにも近いんですね。

## 職員忘年会

12月13日に真和の森で忘年会を実施しました。新しく入職された職員の自己紹介やビンゴ大会で大いに盛り上がりました。



一年間お疲れ様でした。新しい年も頑張らしましょう！

## 今後のスケジュール

### ◆ 円野 ◆

#### 行事

- 1月 1日 お正月・おせち料理
- 1月28日 お誕生日会（新年餅つき）
- 2月 3日 節分（豆まき）
- 2月22日 お誕生日会（お楽しみ）
- 3月 3日 おひなさま
- 3月28日 お誕生日会（お楽しみ）

#### 職員研修

- 2月26日 虐待防止について
- 3月26日 ヒヤリハットの見直しについて

### ◆ 真和の森 ◆

#### 行事

- 1月 1日 お正月・おせち料理
- 1月 5日 神社詣
- 1月25日 お誕生日会（お楽しみ）
- 2月 3日 節分（豆まき）
- 2月26日 お誕生日会（お楽しみ）
- 3月 3日 ひな祭り会
- 3月25日 お誕生日会（お楽しみ）

#### 職員研修

- 1月 8日 事故防止対策について
- 2月 1日 看取りケアの振り返り
- 3月11日 各委員会の振り返り

### 編集後記

光陰矢の如し、先人はよく言ったものです。一年がこんなにも早く過ぎるようになったのはいつからでしょうか。クリニックが加わることで、広報誌名を変えることと致しました。より一層皆様に私共の活動を楽しめる紙面にしていきたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。 編集室 Y. H

### 障害者支援施設 円野

〒357-0011 埼玉県飯能市川崎458  
TEL042-975-3300 FAX042-975-3311  
最寄り駅：高麗川駅（八高線）

### 特別養護老人ホーム 真和の森

〒359-0001 埼玉県所沢市下富1206-1  
TEL04-2990-1133 FAX04-2990-1144  
最寄り駅：新所沢駅（西武新宿線）

<http://www.kyoyukai.jp/>